

事業名 ^{ほりきり}堀切二丁目公園
(防災活動拠点) 整備事業

「こちら葛飾区堀切二丁目公園「自分達のまち」
は、自分達で守る」

受賞機関 葛飾区水と緑の部

事業実施期間 平成9年11月12日～平成11年3月18日

事業費 68百万円



ワークショップの状況

技術等の特徴と評価

公園整備にあたって、計画段階から管理運営まで一環してワークショップ方式により住民が参加することにより、平時には防災訓練の場、災害時には防災活動拠点の場としての活用が図られ、地域の防災安全性とともに住民の防災意識の向上に寄与したことが評価される。

事業の概要と効果

東京都の東端に位置する葛飾区は、面積34.84km²、人口42万人で、特に、堀切地区は木造住宅や中小の工場が立ち並ぶ密集地である。

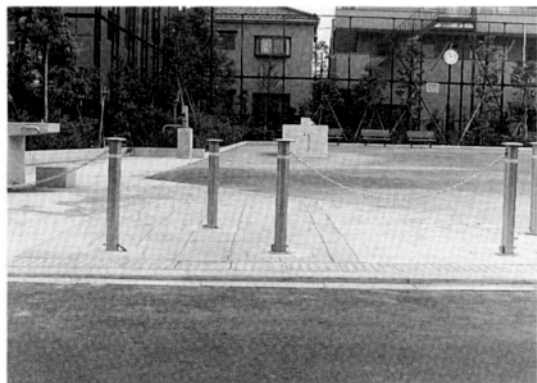
本公園は、地域の人々が「自分達のまちは、自分達で守る」ことをテーマに、消火・救助活動や被災者に対する生活支援を行う「防災活動拠点」として、区内で初め

ての防災施設を備えた街区公園として次の方針に基づいて整備した。

- ・平常時は、公園として地域の人々の憩いややすらぎの場として利用されるとともに、防災訓練の場である。
- ・災害時は、火災延焼の低減、地域ボランティアの人達による消火・炊き出し・応急活動、また、情報・救援物資流通の拠点、仮設住宅の建設用地など、多目的に利用できる。

公園の中央部分にオープンスペースを配し、公園の周囲は火や熱に強い樹種の植樹帯とした。その他、活動に必要な施設として、防災倉庫・防火水槽・流し場・雨水貯水槽・井戸設備・仮設トイレ用マンホール・釜戸兼用ベンチ等を設置している。また、この事業の中核として、防災市民組織の活性化及び組織相互の協力体制の支援が図られる。

この事業の特色は、計画から運営まで、一貫してワークショップ形式で作りに上げたことが挙げられる。平成9年11月から10年4月にかけて、計画と利用のワークショップを行い、平成10年11月から11年2月にかけて、管理と運営、現在は、運営委員会を組織し、オープンセレモニーから自主運営を行っている。



公園北側全景